

人体器官の構造（神経解剖学）

1. 内容

神経系は様々な情報の受容，伝達，処理，統合が行われる場であり，中枢神経系（脳，脊髄）と末梢神経系からなる．講義では神経系の発生，脳と脊髄の構造，主要な神経路，血管支配，脳脊髄膜，脳神経，自律神経系について解説する．特に種々の伝導路（たとえば痛み情報がどのような経路で末梢（体表）から中枢（大脳）まで伝えられるか）に重点をおいて述べる．実習では中枢神経系の三次元的な構築を理解することが目的である．4人1組でヒトの脳を解剖する．

2. 達成目標

- 1) 中枢神経系各部の名称（日本語は漢字，主要な構造は英語も必要）を正しく使用し，機能について説明できる．
- 2) 種々の伝導路について説明でき，それらが障害された場合に起こる臨床症状と対応させることができる．
- 3) 中枢神経系の発生過程や重要な概念（例えば大脳辺縁系）の概略を説明できる．
- 4) 重要な用語について英語で記載することができる（筆答試験 100 点満点中 10 点分以上は英語で出題する）．

3. 成績評価

- 1) 実習、特別講義を無断欠席した場合には試験の合計点から欠席1回あたり10点を差し引く．なおこの減点は再試験にも同様に適用する．
- 2) 実習を2回以上無断欠席した場合には履修認定しない．
- 3) 最終回に筆答試験と実習試験を行う予定である．
- 4) 筆答試験と実習試験の点数を8：2の比率で合算して合否を判定する．不合格となった場合，実習試験については再試を行わず，本試験での実習試験の点数を，再試験の筆答試験の点数と上記の比率で合算し，合否を判定する．

4. 教科書

「解剖実習の手びき」 寺田春水，藤田恒夫 著 南山堂 {実習に必要}

《以下は参考書として》

「神経解剖学ノート」 寺島俊雄 著 金芳堂
「解剖学講義」 伊藤 隆 著 南山堂

5. 総括責任者

和氣弘明 教授 (分子細胞学)

6. 講義日程

2019 年 11 月 13 日 (水) ～ 2019 年 12 月 18 日 (水)
 第 1 時限 8 : 50～10 : 20 第 2 時限 10 : 30～12 : 00
 第 3 時限 13 : 00～14 : 30 第 4 時限 14 : 40～16 : 10

月	日	曜日	時限	講座等名	担当教員名	職名	講義題目	
11	13	水	3	分子細胞学	和氣弘明	教授	1	神経解剖学総論, 発生、髄膜
			4	分子細胞学	和氣弘明	教授	2	脳室, 血管
	14	木	3	分子細胞学	加藤大輔	助教	3	脊髄 I
			4	分子細胞学	加藤大輔	助教	4	脊髄 II
	15	金	3, 4	分子細胞学	和氣弘明他	教授	5	★実習 I
	20	水	3	分子細胞学	和氣弘明	教授	6	脳神経 I
			4	分子細胞学	和氣弘明	教授	7	脳神経 II
	21	木	3	機能組織学	木山博資	教授	8	自律神経
			4	分子細胞学	大崎雄樹	准教授	9	小脳
	22	金	3, 4	分子細胞学	和氣弘明他	教授	10	★実習 II
	29	金	3	分子細胞学	和氣弘明	教授	11	脳幹 I
			4	分子細胞学	和氣弘明	教授	12	脳幹 II
12	4	水	3, 4	分子細胞学	和氣弘明他	教授	13	★実習 III
	5	木	3	名古屋第一赤十字病院・脳卒中科	後藤洋二(非)	部長	14	特別講義「臨床症例からみた神経解剖学」
			4	大阪大学大学院医学研究科	島田昌一(非)	教授	15	特別講義「大脳辺縁系と情動」
	6	金	3	分子細胞学	和氣弘明	教授	16	大脳 I
			4	分子細胞学	和氣弘明	教授	17	大脳 II
	11	水	3, 4	分子細胞学	和氣弘明他	教授	18	★実習 IV
	12	木	3	分子細胞学	和氣弘明他	教授	19	★実習 V
			4	分子細胞学	和氣弘明他	教授	20	★実習 VI
	18	水	3, 4	分子細胞学	和氣弘明他	教授	21	●筆答試験と実習試験

★ 実習は開始時刻に解剖実習室に集合。手袋、白衣、解剖用器具が必要。「解剖実習の手引き」の該当する章の内容を必ず予習しておくこと。

● 試験の日は午後 1 時に第 1 講義室に集合。

7. 講義内容

1. 11月13日(水) 3時限 和氣
「**神経解剖学序論, 発生, 脳脊髄膜**」
神経管, 基板・翼板, 脳胞, 髄膜
2. 11月13日(水) 4時限 和氣
「**脳室, 血管**」
脳室, 脈絡叢, 脳脊髄液, 大脳動脈輪, 血液・脳関門
3. 11月14日(木) 3時限 加藤
「**脊髄 I**」
脊髄神経, 脊髄神経節, 体部位的局在, 脊髄反射
4. 11月14日(木) 4時限 加藤
「**脊髄 II**」
脊髄上行路, 脊髄下行路, 感覚解離
5. 11月15日(金) 3,4時限 和氣ほか
「**実習 I**」
脳の概観, 脳くも膜と脳軟膜, 脳の血管, 脳神経の根
(解剖実習の手びき 92-95)
6. 11月20日(水) 3時限 和氣
「**脳神経 I**」
嗅神経, 視神経, 動眼神経, 滑車神経, 三叉神経, 外転神経
7. 11月20日(水) 4時限 和氣
「**脳神経 II**」
顔面神経, 内耳神経, 舌咽神経, 迷走神経, 副神経, 舌下神経
8. 11月21日(木) 3時限 木山
「**自律神経**」
交感神経, 副交感神経, 自律神経節, 自律神経核
9. 11月21日(木) 4時限 大崎
「**小脳**」
小脳皮質, 小脳核, 小脳脚
10. 11月22日(金) 3,4時限 和氣ほか
「**実習 II**」
脳幹切断, 中脳, 橋, 延髄, 小脳, 第四脳室, 延髄, 橋, 菱形窩, 中脳, 小脳
(解剖実習の手びき 96-100)

11. 11月29日（金）3時限 和氣
「脳幹Ⅰ」
外形，延髄
12. 11月29日（金）4時限 和氣
「脳幹Ⅱ」
延髄，橋，中脳，網様体
13. 12月4日（水）3,4時限 和氣ほか
「実習Ⅲ」
大脳切半，第三脳室，大脳皮質，島，嗅脳
（解剖実習の手びき 101-103）
14. 12月5日（木）3時限 後藤洋二（名古屋第一日赤・脳卒中科）
特別講義「臨床症例からみた神経解剖学」
部位診断，片麻痺，顔面神経麻痺，視神経障害，延髄外側症候群，筋萎縮性側索硬化症
15. 12月5日（木）4時限 島田昌一（大阪大学大学院医学研究科）
特別講義「**大脳辺縁系と情動**」
※キーワードは教えていただけませんでした※
16. 12月6日（金）3時限 和氣
「大脳Ⅰ」
間脳，視床下部
17. 12月6日（金）4時限 和氣
「大脳Ⅱ」
大脳皮質の機能局在，大脳基底核，交連系，内包
18. 12月11日（水）3,4時限 藤本ほか
「実習Ⅳ」
大脳連合線維，レンズ核，側脳室，尾状核，間脳
（解剖実習の手びき 104-107）
19. 12月12日（水）3時限 和氣ほか
「実習Ⅴ（復習）」
20. 12月13日（水）4時限 和氣ほか
「実習Ⅵ（復習）」
21. 12月18日（水）3,4時限
「筆答試験と実習試問」
午後1時に第1講義室に集合すること．半数ずつ2グループに分け，筆答試問と実習試問を交互に行う．実習試問では25の標本について50カ所設問する予定．この日に限り，終了予定は午後4時30分頃．